



い わ せ の

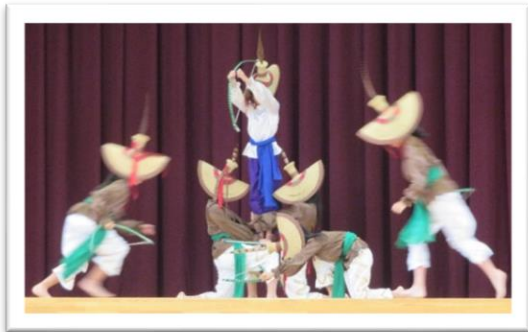
令和5年度 7月号
高岡市立野村小学校
令和5年7月20日

野村のよき伝統を受け継ぐ

校長 鳥内 禎久

7月7日は、本校が開校してから133周年となる134回目の創校記念日でした。明治23年に、野村第四の民家を借りて授業が始まりました。当時の全校児童は97人、教員はわずか1人でした。現在は、児童数は高岡市で最も多い633人です。ピーク時は昭和59年で、児童数が1200人ですから、今の倍の児童が在籍していたことになります。(ちなみに、体育館は今の半分の広さしかありませんでした)私は、平成11～20年度まで本校に勤務していましたが、当時は、環境教育が盛んで、地久子川の水を汲んできて、透視度(水が透き通っているのか)を調べたり、COD(化学的酸素要求量、代表的な水質の指標)を調査したりしていました。また、庄川でサケ

♪創校記念日の歌♪
見渡す 限りの 萩の原
実りの村と 栄えゆく
さざ波光る 庄川に
放した 稚魚の 帰る里
伝統 受け継ぎ
野村の われら
祝おう みんなで
創校記念日
(二番省略)



のつかみ取りも行っていました。中庭には、鶏小屋もあり、6年生が毎日産んだ卵を集めていました。

伝統といえば、創校70周年を記念してできた、「いわせのに」があります。今でも6年生から5年生に引き継がれ、創校記念日や学習発表会、万葉朗唱の会でも舞踊を披露しています。中には、親子2代で演じている児童もいるようです。また、創校100周年を記念してできた、「創校記念日の歌」も有名です。児童が考えた野村の誇りをまとめ作詞にしました。作曲は、当時ウインドアンサンブルを担当していた高田淳一先生(旧姓長瀬)が担当しました。

先生は現在、五位小学校の校長先生ですが、今でもこの歌のことは、しっかり覚えておられるそうです。

野村小学校の先輩は、大変な努力をして道を切り開いておられます。中には、中央官庁で、日本の未来を決める仕事をしておられる方、ウインドアンサンブル出身で、北京オリンピックの開会式で演奏された方、野村FC出身のJリーガー等、様々なところで活躍しておられます。素晴らしい先輩方を誇りに思うとともに、野村っ子には、このよい伝統を受け継いでほしいものです。



輝け!野村っ子



花鉢のプレゼント(7月11日)

飼育栽培委員会では、自分たちが植えて育てた花を、保育園・幼稚園や藤園苑に届けました。花を通して、地域の方々との交流を深めることができました。



ちょボラ活動(7月5日、12日)

ボランティア委員会が、学校のためになるちょっとしたボランティア(ちょボラ)を企画し、各学級の代表が、草むしりや清掃等の様々なボランティアを行いました。



フードドライブ活動(7月18日、19日)

4年生が環境問題について学習し、地球温暖化防止のために「フードドライブ活動」を全校に呼びかけました。たくさんの食品が集まり、今後、必要とする方に届けられます。

一人一人の健やかな成長を願って ～特別支援教育～

特別支援教育コーディネーター 谷村 有紀

特別支援教育は、子供の可能性を最大限に伸ばすことを目指しています。本校では、学校内や専門機関との連絡・調整をする「特別支援教育コーディネーター」が保護者の方の相談窓口となり、子供たち一人一人の教育的ニーズに応じて、適切な教育的支援を行う「特別支援教育」に取り組んでいます。

今回は、「通級指導教室」と「専門性を生かした支援」の二つを紹介します。

通級指導教室

今年度から通級指導教室が二つになりました。通級指導教室では、通常の学級に在籍する子供たちが、週1～2時間程度特別に編成された教育課程の「自立活動」の指導を受けます。「自立活動」では、子供たちの苦手なことや難しいと思うことを解決しながら、学習面・生活面の力を付け、自信をもって学校生活を送ることができるように指導しています。

第1通級

- ★聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する等の学習に必要な力を習得する
- ★自分に合った学び方を身に付ける
- ★社会生活上のスキルを身に付ける



第2通級

- ★感情や行動を自分でコントロールできる
- ★集団参加やコミュニケーション能力を高める
- ★学習に必要な力を習得する



通級指導教室では、子供たちの実態に応じて指導内容や指導方法を計画的、組織的に行うため、保護者の方や学級担任と連携を図りながら効果的な指導に努めています。通級指導教室についてもっと詳しく知りたい方は、担任を通してご連絡ください。

専門性を生かした支援

- ・**スクールカウンセラー(SC)**は、心理の専門家です。高度な専門知識や技能に基づいたカウンセリング等によって問題解決を図ります。
- ・**スクールソーシャルワーカー(SSW)**は、福祉の専門家です。児童生徒が抱える諸問題の予防、解消のため、面談や家庭訪問を行い、保護者の方の悩みを聞き、解決に向けてアドバイスをします。
- ・**きずな子ども発達支援センター**は、心身の発達に特別な配慮や支援が必要な子供たちのために、健やかな発達と自立の基礎づくりをすることを目的とした児童発達支援センターです。高岡市内の小中学校や施設を訪問し、集団生活に適応する力や学習に取り組む力等を育てるための支援について、協議したり助言したりする訪問支援を行っています。
- ・**特別支援学校**は、特別支援教育に関する「地域のセンター」として、小中学校へ訪問相談をするなど地域への支援を積極的に行う機能があります。

きずな子ども発達支援センターの訪問支援や特別支援学校の訪問相談を活用し、子供たちへのよりよい指導・支援の方法について校内で研修を行っています。



8・9月の行事予定



sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
8/27	28 2学期始業式	29 給食開始	30	31	9/1 校外学習(5年) 教育実習 (~22日)	2
3	4	5	6 委員会④	7	8	9 市科学展覧会
10 北陸小学生バンド フェスティバル	11	12	13 クラブ活動④	14	15 市小教研 教科別研修会	16
17	18 敬老の日 	19	20	21	22	23 秋分の日 
24 敬老会 (体育館)	25	26 校外学習(4年)	27 委員会⑤	28 宿泊学習(5年)	29 宿泊学習(5年)	